

臨床研究へのご協力のお願い

東京医科大学病院(病院長代行: 阿部 信二)泌尿器科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け承認の後、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

前立腺癌術後における Grade Group 4 の病理組織学的再発因子の検討

[研究の背景と目的]

高齢化社会において前立腺癌は増加傾向にあり、国内では悪性疾患の罹患率が男性で第一位を占めております。局所前立腺癌に対しては、根治を目指しロボット支援下前立腺全摘除術を行います。その中には再発しやすく予後不良な高リスク癌も存在します。術後病理結果で悪性度の高い前立腺癌(グレードグループ 4)のうち、再発リスクの高い病理組織を検討します。

[研究の方法]

●研究対象者となる基準

2006 年 9 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに当院で施行されたロボット支援下前立腺全摘除術の症例のうち、グレードグループ 4 の解析可能な 200 例を対象とします。

術前にホルモン治療や放射線治療を行った患者さんは除外とし、患者様およびそのご家族より研究不参加の申し出があった場合は除外します。

●研究期間

研究機関の長の許可日から 2027 年 7 月 31 日

●利用する検体

上記研究期間で施行されたロボット支援下前立腺全摘除術のうち病理結果がグレードグループ 4 のハイリスク前立腺癌症例を対象とします。グレードグループ 4 の病理プレパラートを病理専門医と共に再度見返して確認します。カルテにてフィードバックし術後生化学的再発を認めた患者さんを確認し、特定の病理組織型、腫瘍量、腫瘍割合と関連するか調べます。

●利用を開始する日

2026 年 7 月 16 日

●検体や情報の管理

情報は、直ちに個人が判別できる情報は含まれないよう加工されます。カルテ番号、病理番号、氏名など個人情報とは削除し診察券番号を研究用 ID に置き換えることで個人が特定できないよう配慮致します。加工された情報等は、病院の研究責任者の指示に基づき施錠された場所（医局内のキャビネットなど）またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。

[実施体制]

研究責任者：東京医科大学病院泌尿器科講師	下平 憲治
研究分担者：東京医科大学病院泌尿器科主任教授	大野 芳正
東京医科大学病院泌尿器科講師	佐竹 直哉
東京医科大学病院泌尿器科講師	平澤 陽介
東京医科大学病院泌尿器科助教	林 建二郎
東京医科大学病院泌尿器科臨床講師	鹿島 剛
東京医科大学病院泌尿器科助教	長尾 剛
東京医科大学病院泌尿器科助教	岡田 充生
東京医科大学病院病理診断科主任教授	長尾 俊孝
東京医科大学病院病理診断科助教	梶原 真奈美

[問い合わせ先]

東京医科大学病院泌尿器科講師

下平 憲治

電話番号 03-3342-6111 内線 62603

受付日時 平日 9:00～17:00